

アルジェリア政治・経済月例報告  
(2016年11月)

平成28年12月  
在アルジェリア日本国大使館

1. 内政

● 第62回革命記念日

ブーテフリカ大統領は、1日に第62回革命記念日を迎えるに際して国民宛のメッセージを発出し、アルジェリア国民に国の治安確保に向けた国民の支持、経済社会発展の実現に向けて国民のポピュリスト的な言説に対しての分別を呼びかけるとともに、今年初めに改正された憲法は多元的民主主義に資する旨述べた。また、ブーテフリカ大統領は、1日にアルジェ市のエル・アリア殉死者墓地にて開催された記念式典にベンサラ国民評議会議長、ウルドゥ・ケリファ国民議会議長、セラル首相及びウーヤヒヤ大統領府官房長等の同席の下、参加し、献花を行った。

● ブーテフリカ大統領の定期健康診断

7日、ブーテフリカ大統領は私的訪問のためにフランス・グルノーブルへ出発し、同訪問中に定期健康診断を行う旨のコミュニケを大統領府が発表した。15日には私的訪問を終え、アルジェリアに帰国した。報道によれば、未確認情報としつつ、ブーテフリカ大統領は今次訪問において、機能回復のための何らかの外科手術を受けた可能性があるのではないかとしている。

2. 外交

● ウルドゥ・アッベスFLN党首と中国とのかかわり

10月22日に与党FLNの党首に就任したウルドゥ・アッベス党首は、11月2日に中国大使を迎え、同党首自身が旧東ドイツで医学を勉強していた際、絹製の毛沢東の肖像画をプレゼントされ、後生大事に保管したという個人的な秘密を明かした。ウルドゥ・アッベス党首は、会談に際し、独立戦争時の中国によるアルジェリアへの支援に賛辞を送り、また、ブーテフリカ大統領（当時外務大臣）が国連安保理における中国（中華人民共和国）の議席を復活させるのに尽力したことを強調し、加えて、ブーテフリカ大統領就任以降、大規模な建設プロジェクトは中国企業に委託されている旨述べた。また、ウルドゥ・アッベス党首は、アルジェリアの学校における中国語教育も提案した。

● ブーテフリカ大統領によるトランプ次期米国大統領への祝辞

9日、ブーテフリカ大統領は、次期米国大統領に選出されたトランプ氏に祝辞を発売し、国際平和及び国際安全保障のために米国が大きな役割を果たすことを確信するとともに既に友好的な二国間関係を称賛し、それを更に強化し、多様化していく意志を約束した。

● ベンサラ国民評議会議長のCOP22参加

ブーテフリカ大統領の指名を受け、ベンサラ国民評議会議長は、ラマムラ外務・国際協力大臣同席の下、モロッコ・マラケシュにて開催されたCOP22ハイレベル会合に参加し、全参加者に昨年COP21で採択されたパリ協定の批准を呼びかけた。また、ベンサラ国民評議会議長は、改正憲法における環境への言及や2030年に国内電力需要の27%を再生可能エネルギーで賄うとの国家目標について述べた。

● ベンサラ国民評議会議長のキューバ訪問

25日、フィデル・カストロ・キューバ前国家評議会議長が逝去したことを受け、キューバ政府は29日に葬儀を行う旨発表した。ブーテフリカ大統領は、アルジェリアからの代表としてベンサラ国民評議会議長を指名し、同議長はキューバを訪問した。ベンサラ国民評議会議長は、カストロ前国家評議会議長は新世代にとっても伝説であり基盤であるため、死去後も指導者であり続けるであろう旨発言した。

3. 治安

● アイン・デフラ県におけるテロ事件

13日午後5時頃、アイン・デフラ県タリク・イブン・ジアド地区を通る国道14号線上において、3～4人のテログループが路上に樹木を置いて停止させたタクシー（白タク）の乗客である軍人2名と運転手1名の喉を刃物で切って殺害し放火した。

● アルジェ県における退職制度改正反対デモ

27日、アルジェ県アルジェ中央地区の中央郵便局前で、労働者退職制度の改正法案に反対する座り込みデモが行われた。デモは公務員自主労働組合連合（13の自主労組で組織）の主導で行われ、労組関係者、労働者党及び社会主義勢力戦線（カビリー地方が地盤）を含む野党の代議士、人権団体等合わせて約200名が参加した。当初、退職制度改正法案が審議される国民議会（下院）の前でデモが行われる予定であったが、事前に警備態勢をとっていた大規模な

警察部隊に行く手を阻止され、やむなく中央郵便局前での座り込みに変更となった。デモ参加者の多数（一部報道では数十人）が警察に連行された。警察のデモ抑止行為を暴力的と非難する声も多い。これまでの退職制度は年齢に係わらない早期退職と早期退職者への勤務年数に応じた退職年金支給を認めていたが、政府はこの3年来赤字が続く退職年金基金の救済措置として制度の見直しに踏み切り、退職年齢を男性60歳、女性55歳とし、かつ最低15年の社会保障費支払いを年金受給の条件とする改正法案が本年7月の閣議で承認され、デモが行われた27日に国民議会で可決が予定されていた。しかし労働組合や野党陣営は、早期退職を「絶対不可侵の既得権利」と譲らない構えを示し、これまでも抗議運動が国内各地で散発していた。

#### 4. 経済

##### ● アフリカ開発銀行のアルジェリア政府への融資

2日、アフリカ開発銀行（AfDB）は、同行理事会において、アルジェリア政府の産業・エネルギー分野競争力支援プログラムに対する9億ユーロの融資を承認した。

##### ● 中国企業による石油精製工場修復工事

6日、マズージ国営炭化水素公社ソナトラック社総裁は、アルジェ県北東部に位置する Sidi R'zine 石油精製工場の修復工事を中国企業に委託した旨発表した。同工場は、フランス企業 Technip との契約解消のため、2015年から工事が停止していた。同日、マズージ総裁と中国石油工程建設公司（CPEC）代表が契約の調印式を行った。同工事の受注額は450億ディナールで、21か月後に精製が開始される見込み。

##### ● 自動車購入に関するローン契約

8日、BNA銀行（Banque national d'Algérie）とタフクート社（Tahkout Manufacturing Company）は、ヒュンダイ社の自動車ローンに関する提携に調印した。消費者ローンは国内生産品のみを対象に許可されており、タフクート社は、当地でヒュンダイ社の自動車を製造する予定。同自動車ローンの利率は8.5%で、償還期間は5年。

##### ● 1月－10月の貿易赤字

税関当局の発表によると、アルジェリアの2016年1月－10月の貿易赤字は158億ドルに達し、対前年同期比14.75%増となった（前年同期は137億6,000万ドル）。同期間の輸出額は、227億4,000万ドルで対

前年同期比23.44%減となり（前年同期は297億ドル）、また輸入額は385億4,000万ドルで対前年同期比11.34%減となった（前年同期は493億ドル）。

● フォルクスワーゲンのアルジェリア進出

27日、フォルクスワーゲン（VW）は、アルジェリア企業のソヴァックと自動車組み立て工場設立に関する契約に調印した。右調印式には、両社関係者の他、ブシュアレブ産業・鉱業大臣が出席した。同工場は、アルジェリア西部のレリザンヌ県で建設予定であり、投資額は1億7,000万ユーロで、2017年6月に生産開始予定。

5. 我が国との関係

● 和食イベントの開催

8日、在アルジェリア日本国大使館主催の和食イベントが藤原駐アルジェリア日本国大使公邸にて開催された。同イベントでは、日本の調理専門学校を運営する石井学園の教員が調理のデモンストレーションを行い、招待客に対して日本食を提供した。

<アルジェリア要人の外国訪問>

日付	国	氏名・肩書き	目的
11月3日	マリ	セラル首相	第12回アルジェリア・マリ合同委員会に出席
11月8日	エチオピア	メサヘル・マグレブ・AU・アラブ連盟大臣	AUハイレベル会合に出席
11月9日	フランス	ベドゥイ内務・地方自治大臣	カズヌーヴ内務大臣と会談等
11月15日	モロッコ	ベンサラ国民評議会議長、ラマムラ外務・国際協力大臣	COP22に出席
11月15日	サウジアラビア	セラル首相	アルジェリア・サウジアラビア経済フォーラムに出席
11月18日	アラブ首長国連邦	ラマムラ外務・国際協力大臣	第7回シルバニヤス国際フォーラムに出席

11月18日	中国	フェラウン郵便・情報通信技術大臣	第3回インターネット世界会合に出席
11月19日	カタール	ブーテルファ・エネルギー大臣	第18回ガス輸出国フォーラム閣僚級会合に出席
11月21日	バーレーン	ラマムラ外務・国際協力大臣	ハリーフア首相と会談等
11月22日	カタール	ラマムラ外務・国際協力大臣	アブドッラー首相兼内務大臣と会談等
11月23日	赤道ギニア	メサヘル・マグレブ・AU・アラブ連盟大臣	第4回アフリカ・アラブサミットに出席
11月26日	マダガスカル	ラマムラ外務・国際協力大臣	第16回フランコフォニー各国首脳会合に出席
11月26日	イラン	ブーテルファ・エネルギー大臣	ザンガネフ・エネルギー大臣と会談等
11月28日	キューバ	ベンサラ国民評議会議長	フィデル・カストロ前国家評議会議長の葬儀に出席
11月29日	チュニジア	セラル首相	エセブシ大統領と会談等

<外国要人のアルジェリア訪問>

日付	国	氏名・肩書き	目的
11月2日	EU	パンゼリ・マグレブ代表団長	セラル首相、ラマムラ外務・国際協力大臣と会談等
11月2日	オーストラリア	ヴェルス対外関係・商務次官	ラービヒ外務次官と会談等
11月6日	チャド	バシール治安・移民大臣	セラル首相、ベドゥイ内務・地方自治大臣と会談等
11月6日	マリ	シディベ国会委員長	セラル首相、ウルド

			ウ・ケリファ国民議会議長、ラマムラ外務・国際協力大臣と会談等
11月8日	インドネシア	ハッサン諮問評議会委員長	セラル首相と会談等
11月11日	ケニア	ルト副大統領	ベンサラ国民評議会議長と会談等
11月12日	カタール	ムハンマド・ビン・アブドルラフマン外務大臣	セラル首相、ラマムラ外務・国際協力大臣と会談等
11月13日	サウジアラビア	アル・ファレフ・エネルギー大臣	ブーテルファ・エネルギー大臣と会談等
11月16日	ドイツ	ミュラー経済協力・開発大臣	ベドゥイ内務・地方自治大臣と会談等
11月19日	リビア	エル・ガマティ・エル・タギエール党党首	メサヘル・マグレブ・AU・アラブ連盟大臣と会談等
11月20日	フィンランド	ティリカイネン農業大臣	ブシュアレブ産業・鉱業大臣と会談等
11月21日	フランス	マセット外務次官	メサヘル・マグレブ・AU・アラブ連盟大臣、ラービヒ外務次官と会談等
11月22日	アラブ首長国連邦	マンスール副首相兼大統領官房相	ブーテフリカ大統領、セラル首相、ガイト・サラ国防副大臣兼軍参謀総長と会談等
11月26日	レソト	モシシリ首相	ブーテフリカ大統領、セラル首相と会談等
11月26日	中国	李恵来外交部部長助理	第1回アルジェリア・中国戦略治安対

			話に出席
11月26日	ベネズエラ	デル・ピノ・エネルギー大臣	ブーテルファ・エネルギー大臣と会談等
11月29日	カタール	タミーム首長	ブーテフリカ大統領と会談等

(了)